

「全力平中」

夢を語り、夢を追う生徒
笑顔 続ける 支え合う

【学校だより】

平戸市立平戸中学校
令和8年1月8日
文責 原田 誠

皆様、新年あけましておめでとうございます。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。



3学期始業式 生徒会引継ぎ式



令和7年度の集大成となる3学期が始まりました。始業式では、学年代表として1年生吉住 幸さん、2年生松本純弥さん、3年生堀 琥珀さんが登壇し、それぞれが3学期の目標や抱負を立派に発表してくれました。生徒たちが新たな気持ちで新年を迎え、前向きに学校生活をスタートさせている様子がうかがえました。

さて、3学期は一年間の学びや成長の成果をまとめめる大切な学期です。冬休み前には、生徒一人一人に新しい目標を立てるよう声をかけました。目標をもち、自分で考え、行動する経験は、これから成長にとって大きな力となります。

本校では、今年度の学校テーマとして「笑顔」「続ける」「支え合う」を大切にしてきました。特に、互いの違いを認め合い、支え合う姿勢は、将来社会で生きていく上でも欠かせない力です。残り3か月、生徒一人一人がこれらの言葉を意識しながら、充実した学校生活を送ってほしいと願っています。そして、「平戸中学校の生徒でよかった」「この学級でよかった」と、すべての生徒が心から感じられる学校づくりを、教職員一同、引き続き進めてまいります。

また、始業式後には生徒会の引継ぎ式が行われました。これまで会長松永朋華さんを中心とした生徒会は、「結成～進歩した学校へ～」をスローガンに、さまざまな活動に主体的に取り組んできました。その活動を通じて、生徒会役員だけでなく、多くの生徒が大きく成長する姿を見ることができました。3年生の皆さん、これまでの活躍に心から感謝します。今後はそれぞれの進路実現に向けて、力を発揮してくれる期待しています。



そして、2年生を中心とした新しい生徒会がスタートしました。新会長坂本紀乃さんが立候補時に掲げた公約は「できるを当たり前に」です。この言葉のもと、全校生徒が自覚と責任をもち、より良い学校生活を築いてくれることを願っています。今後の平戸中学校のさらなる成長が、今から楽しみです。

3年生 学年末テスト 1・2年生 市学力調査



今日と明日の2日間でテストを実施しています。3年生にとっては、本校で受ける最後のテストとなる学年末テスト。1・2年生は、市の学力調査です。

1・2年生の市学力調査は、CBT (Computer Based Testing) 方式という、コンピュータを使った方法で行っています。生徒は一人一台のクロームブックを使い、画面に表示された問題に答えます。本番に備えて、2学期の終わりには、動画や音声が正しく動くかの確認や、操作に慣れるための練習問題（ウォーミングアップ問題）も行いました。CBT方式は、現在では国家試験や資格試験、企業の試験など、様々な場面で使われている試験方法です。また、令和8年度に行われる全国学力・学習状況調査では、3年生の英語のテストがCBT方式で実施される予定です。「テストといえば紙で行うもの」というイメージをお持ちの方も多いと思いますが、今後はこのような方法がさらに広がっていくと考えられます。CBT方式では、結果を詳しく分析しやすく、生徒一人一人の学習状況をより分かりやすく把握することができます。今後も、学力向上につなげるとともに、授業の改善に役立てていきたいと考えています。

